



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 佐々木直人

2016賃金確定闘争 年内差額支給は9割超

道本部は、11月17日をヤマ場とし賃金確定闘争・現業公企統一闘争を展開してきた。多くの単組で人動どおりで決着となったものの、生活給である扶養手当は国を上回る措置や臨時・非常勤等職員の賃金改善などの成果を上げている。一方、給与法の改正が11月16日であったことから、今後、交渉を行う単組も数多くあり、引き続きたたかいが展開される。



地公三者(自治労・北教組・全道庁労連) 総決起昼休み集会=11月16日



独自課題を含め副町長交渉を行う津別町職=11月9日



団体交渉を行う名寄市職労青年部=11月15日

米国では、人種差別的激化や貧富の差の拡大から、社会の分断と不信がこれまでにないレベルへ達し、社会秩序の健全化は待ったなしの状況だ。これは日本も同じである。「自己責任論」のもと貧困層が増加し、格差拡大に歯止めがか

朝風

からず、社会が分断されている。一方、米国では10、30代の若者たちがさまざまな社会問題に目をむけ立ち上がるなど、将来に一筋の明るい兆しも見え始めている。日本はどうだろうか？組織されている我々の役割はそこにある。

2016賃金確定闘争において月例給・一時金の引き上げと年内差額支給とする単組は事務折衝も含め9割を超える。また町村を中心に交渉が

継続されているが、11月末には、ほぼ全単組で妥結する見通しである。

また、扶養手当については、多くの単組で国に準じた見直しが強いられているが、一部の単組では子育て世代への支援などを考慮し子への手当額の増額を引き出している。

一方で、給与原資(本府省業務調整手当)の活用については、単に人勸進だけで地方公務員は国家公務員との格差が拡大することから、その取り扱いを当局に追及したものの、総務省が、「給料表や他の手当に積み増しすることは厳に慎むべき」と昨年同様、地方への圧力を強めたこと

から、自治体当局は国からのペナルティーを懸念し、格差解消に至っていない。引き続き賃金闘争の重要課題として位置づける必要がある。

臨時・非常勤等職員の処遇改善では、時給単価の引き上げを中心として改善を勝ち取っている。しかし賃金の改定時期については遅及改定となっており、正規職員との均等待遇などの課題を整理し引き続き2017国民春闘において取り組みを強化していく必要がある。

臣を辞任に追い込まなければならぬ」としたうえで、「生活すべてに関わるルールが大企業の利益拡大のために変わっていく。何としてもTPPを止めなければならぬ」と訴えた。

その後、出村良平・連合北海道会長が「強行採決は断固認められない。ふざけた大臣は即刻、辞任すべき」とし「政権の暴走の表れ」と批判し、「粘り強くTPPに反対し、批准を阻止しよう」と訴え団結カンパニーを行った。

TPP承認に反対する緊急行動
『政権の暴走は許さない』

11月4日、札幌市で民進党・道農民連盟・連合北海道が「TPP承認に反対する緊急行動」を開き150人が参加した。

小川勝也・参議院議員は「一部の富が儲けるのがTPPであり、富をもっと増やしたい一部のひととその他大勢のたまたかである。審議を左右するのは世論の盛り上がり」と引き続き、反対の声を上げることを要請した。

徳永エリ・参議院議員は「異常な国会の状態を正すために、農林水産大臣を辞任に追い込まなければならぬ」としたうえで、「生活すべてに関わるルールが大企業の利益拡大のために変わっていく。何としてもTPPを止めなければならぬ」と訴えた。

その後、出村良平・連合北海道会長が「強行採決は断固認められない。ふざけた大臣は即刻、辞任すべき」とし「政権の暴走の表れ」と批判し、「粘り強くTPPに反対し、批准を阻止しよう」と訴え団結カンパニーを行った。

その後、デモ行進を行い、市民に「TPPの批准反対」をアピールした。

11月3日、札幌市大通公園で「私たちは戦わない! 憲法公布70年安保関連法の廃止集会」を開催し、約650人が参加した。

雪まじりの雨の中、市民ら650人が参加=11月3日

11月3日、札幌市大通公園で「私たちは戦わない! 憲法公布70年安保関連法の廃止集会」が開かれ、約650人が参加した。

主催団体である太田賢二・道弁護士会連合会理事長は「この70年間、平和憲法を守ってきたが、政府によって変えられようとしている。安保法制を廃止する」という気持ちで共有したい」と述べた。

山口二郎・法政大学教授は「憲法が公布され70年となるが、第2次安倍政権が発足してから、憲法で掲げている理想から、どんどん後退を続けている。憲法理念を現実のものとするべく、手をたがさず、日本をおおう安倍政治という暗雲をほらうため、さらに頑張っていく」と訴えた。

また、平和子さんは「笑顔で息子を再会できるように声をあげ続けた」と、現役自衛官の母親の思いを述べた。

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

『月刊自治研』ならわかる活かせる

JICHIRO スケジュール

11月

23日(水)・11.23幌延デー(幌延町)
・共済運動開始60周年記念事業「冬季体験型防災イベント」(札幌市・コンベンションセンター)
・ワークルール検定(札幌市・かでの2・7、釧路市・生涯学習センター)

25日(金)・食とみどり、水を守る全国集会(札幌市・ロイトン札幌)

道本部ホームページ

自治労北海道 ユーザー名:minnade
組合員専用ページは パスワード:danketsu2013

『月刊自治研』定期購読のお願い

地域のあしたをデザインする
まちづくり・人づくりの
実例がここにある!

こんな方にオススメです

- 公共サービスの最前線で働く職員
- 自治体の企画・政策セクションの担当者
- 労働組合の役員・書記
- 道議会・市町村議会等の地方議員、首長
- 地域運動に携わる市民グループ・NPO団体
- 地方自治を研究している研究者・学生

『月刊自治研』ならわかる活かせる

●年間購読料 8,028円 ●1冊のみ 822円

詳細は <http://www.jichiro.gr.jp/jichiken/>

私たちは戦わない! 憲法公布70年安保関連法の廃止集会

安倍政治という暗雲をはらう

NO! WAR

戦争法廃止!!

雪まじりの雨の中、市民ら650人が参加=11月3日

11月3日、札幌市大通公園で「私たちは戦わない! 憲法公布70年安保関連法の廃止集会」が開かれ、約650人が参加した。

主催団体である太田賢二・道弁護士会連合会理事長は「この70年間、平和憲法を守ってきたが、政府によって変えられようとしている。安保法制を廃止する」という気持ちで共有したい」と述べた。

山口二郎・法政大学教授は「憲法が公布され70年となるが、第2次安倍政権が発足してから、憲法で掲げている理想から、どんどん後退を続けている。憲法理念を現実のものとするべく、手をたがさず、日本をおおう安倍政治という暗雲をほらうため、さらに頑張っていく」と訴えた。

また、平和子さんは「笑顔で息子を再会できるように声をあげ続けた」と、現役自衛官の母親の思いを述べた。

連合北海道「泊原発総合防災訓練」調査活動

住民に『情報』届かず

11月13、14日、「泊原発総合防災訓練」が泊村・共和町などで行われ、連合北海道は35人の調査団



ヘリコプターを使用した訓練の様子=11月13日

で訓練の調査・検証活動を行った。自治労からは、道本部をはじめ後志地本・岩内町職・道消協など12人が参加した。



放射線モニタリングの訓練

今年度は、国の原子力総合防災訓練と北海道の合同訓練として行われ、初めて津波を想定して実施された。

訓練では、南西沖地震により津波が発生し、北側に放射性物質が拡散する想定のもと、泊・共和・神恵内・積丹・古平の住民がバスなどで避難し、ヨウ素剤服用の有無を判断するための問診や

では、「避難バスが大型で、冬期間では運行に支障をきたす」「街頭広報車の速度が速すぎて住民に情報が届かない」などの現地調査に加え、調査団による住民アンケートで、「訓練の中身がわからずに参加した」「津波想定

なのに海側の避難所に集合していたが、実際に津波が来たらどこに集合するのか」などの課題が明らかになった。

連合北海道は、これら調査・検証活動をもとに北海道に対して政策提言を行っていく。

青年部役員セミナー「何のために」を大切に



全道から57単組・総支部97人（うち女性15人）が参加

11月5、6日、札幌市で「役員としての不安や課題の共有」「課題解決にむけた運動交流と実践」をテーマに青年部役員セミナーを開いた。

講演Iでは「青年部運動の強化にむけて」と題し、吉田・道本部組織拡大オクルクは「何をやるか」ではなく「何のために」を追求するべき。仲間に関わる際も、結果だ

けではなく、経過が重要だ」と述べた。講演IIでは、「政治闘争の意義と課題」と題し、竹中・前道本部政治部長は「生活に関わる法律や制度は政治の場で決められる。一番住民の声を聞いている『自治労の組合員』だからこそ、国民の生活を守る立場に関わりを持つ必要がある。日常

の丁寧な関わりから人間関係を築くことが必要」と述べた。分散会討論では、「仲間の変化に気づくことが重要」などの声が出された。最後に斉藤青年部長が「大切なのは『何をやるか』ではなく、『何のために』か。日常の往復運動を意識し、運動をつくらう」と集約した。

今年も 春闘アンケート 11/18(金)からはじまっています 開始日は単組によってちがいます 道本部集約 12月1日(木)です アンケート結果は、春闘討論集会、機関紙、ホームページで報告します。

年代や職場の垣根を越える



職場だより

【空知地方本部発】

深川市職労では、10月28日、青年婦人部主催の親睦会、「ミニバレーボール大会」を開き、65人が参加した。

親睦会は、例年、日ごとの運動不足やストレス発散、組合員間の親睦を深めることを目的に開催。ミニバレーボール大

会としての開催は、今年で3回目となる。今年はいよりの親睦を深めるため、青年婦人部以外からの参加者も募り、田中昌幸・組織内市議会議員や深川市消防職員協議会、青年婦人部OB・OGらからも多くの参加があり、交流を楽しんだ。

参加した組合員からは岡田康誌 高原克明)

「交流機会が少ない年代や職場の人と交流ができなかった」「運動不足を解消できた」「こうした交流の場があれば、次も参加したい」などの声も多

くあり、今後も年代や職場の垣根を越えた交流の場を設けていきたい。(深川市職労 執行委員 岡田康誌 高原克明)



青年婦人部主催のミニバレーボール大会で親睦を深める

参加者の声

■考えることが大事



せたな町職 大口和貴さん

講演では、ものの見方・考え方の違いにより、物事の捉え方が全く違う意味になることや、報道の情報を鵜呑みにせず、自分の頭で考えていくことが大事だということ

を学んだ。分散会討論では、役員ならではの悩みや不安をどのように解消していくかなどを話し

■課題を共有できた



新冠町職 長濱淑子さん

今年度から地本青年部書記長を担うこととなり参加した。これまでの集会では、職場実態など「個人」の悩みや問題が多く出されていたが、今

集会では役員に特化した集会であり、単組や地本など「組織」としての運

■部員全員で取り組む



全道庁労連釧路総支部 小原奈穂美さん

今回の役員セミナーをとおして様々な視点から物事を考え、相手の立場で物事を考えることが大切だと気付いた。「誰のためか」ということを忘れずに、役員だけでなく青年部員全員を巻き込んで活動に取り組む、組織の強化をはかってい

忙中余話

泊原発周辺でも、連合北海道の調査の地質の問題で、再稼働の見通しが2018年以降になることとなった。引き続き、再稼働を認めない道民世論をつくる運動を行っていくが、注視していかねばならないポイントがある。道民運動は、脱原発の他にも反戦・反核・憲法擁護、そして反TPPなどの平和運動が根幹である。国際・国内の情報を収集しながら、平和運動フォーラムに結集し、運動を推進していきたい。(森田寛之)

道合同の泊原発防災訓練